

令和元年度 事業計画

公益財団法人滋賀県希望が丘文化公園は、平成29年4月に希望が丘文化公園のみを管理する法人としてスタートし、健全な法人運営と安心・安全で快適な施設運営に努めてきた。

平成31年度は、第4期指定管理の初年であり、引続き6年間の指定管理者として当財団が、県民に更なる魅力を感じていただけるよう新たな希望が丘を、また、チャレンジする希望が丘を提案・提供していかなければならない。

県においては、平成27年12月に策定された「希望が丘文化公園将来ビジョン」に基づき、平成30年3月に「希望が丘文化公園基本計画」が策定された。当財団は、本計画に示された役割や具体的な取組の実現に向けて、今まで以上に私たちの願いとする「100年先にも誇れる公園づくり」を目指して、これまでに培った確かな経験をもとに、県民に潤いや安らぎを与える豊かな空間を提供するとともに、より一層県民の視点に立った管理運営を通じて、県政の発展に貢献できるよう夢と誇りを持って邁進していく。

また、子どもから高齢者までの世代をつなぎ、年間を通じて賑わいを創出する「祭事業」、全国から多くの参加者、関係者を滋賀へ誘い、その魅力を全国に発信する各種スポーツ大会、“きぼっこ”を合い言葉とした次代を担う子どもたちの自然体験活動を推進する“きぼっこ体験事業”の拡充など、自然豊かな公園が多くの方々にも愛され親しまれる公園であるように、熱意を持ってより魅力的な事業を展開できるように努める。

【希望が丘文化公園の運営】

1 基本方針

(1) 自然と人との共生

希少植生物の保護や荒廃が進む森林の保全に的確に対応するなど、豊かな自然を保護、活用し、多くの来園者が自然の恵みを楽しむことによって、逞しい人間力と豊かな人間文化力を育む公園として、100年後も栄える滋賀のもりづくりに貢献する。

(2) 教育的機能の発揮

スポーツ、宿泊、野外活動、その他の施設を活用して、あらゆる年代の人々の共同宿泊活動や野外活動、スポーツ活動を促進し、これらの活動から得られる社会性や創造性など望ましい人間性を高めることにより、世代に応じた人間力と人間文化力の向上を図る公園として、100年後も栄える滋賀のひとづくりに貢献する。

(3) ふれあい公園の創出

来園者の誰もが憩い、楽しみ、交流・交歓できる景観の創出や行事の実施など、“ふれあいの場”を提供することによって、家族が、友達が、知る人も知らない人もともに声をかけ、あいさつを交わし、笑顔が溢れる豊かな人間性を育てる公園として、100年後も栄える滋賀の活力づくりに貢献する。

(4) 納得公園の演出

公園設置47年の歴史を活かし、来園者はもとより公園設置者、公園管理者の誰もが自信と誇りの持てる納得の管理運営を確保し、大切な県民の財産として100年後も誇れる管理運営を行う。

(5) 眼差し公園による管理運営

公園設置47年の継続した管理運営の実績を活かして、常にお客様の立場に立った安全性や利便性を追求し、お客様の全てを優しく見守る公園として、100年後も任せてもらえる管理運営を行う。

2 経営目標

(1) 管理運営目標

ア 自主財源率の目標

自主財源率：

平成29年度実績 27.5 % → 平成30年度見込 25.5 % → 平成31年度目標 32.5 %

<実現策>

- (ア) 3月から9月末までの月曜日（祝日の場合はその翌日）は、すべて開園する。なお、10月から2月末までの月曜日は休園日とするが、利用の申し出があれば積極的に受け入れて部分開園の措置を講じる。
- (イ) スポーツゾーンでは、4月から9月末までの期間は営業時間を1時間延長し、午後6時までとする。なお、スポーツ施設は利用者の要望に応じ、午前7時からの利用にも対応する。さらに、照明設備を備えた屋内テニスコートおよび体育室は、最終午後9時まで利用時間の延長を行い、新規利用者層の開拓を図る。
- (ウ) 安心・安全を第一に考え、「効率的かつ効果的な業務は外部に委ねる」ことを基本として、利用者サービスの向上とコスト削減を図る。併せて、職員の技術・経験を活かした直営修繕によって即応性を高め、経費削減を徹底的に行う。
- (エ) 「エコアクション21」による持続的な環境負荷低減活動を推進し、省資源化および省エネルギー化により、経費の縮減を図るとともに、自然や環境に配慮した事業やサービスの提供に努める。
- (オ) 「希望が丘みらい基金」をはじめ、助成金・協賛金、広告料等の獲得により、教育・環境・自然および野外活動事業等の一連の取り組みが拡充できるよう、各種団体、企業、さらには事業参加者などへの協力・支援を積極的に働きかける。

イ 施設の来園者数の目標

来園者数：

平成29年度実績 892,052人 → 平成30年度見込 901,000人 → 平成31年度目標 922,000人

<実現策>

- (ア) 文化ゾーンに四季折々を楽しむことができる「コバノミツバツツジ」や「ドウダンツツジ」などの花木を整備し来園者の目を楽しませ、「憩いを感じる場」「自然を体験する場」としての機能を高め来園者増を図る。
- (イ) 駐車料金の回数券（5千円：普通車500円券1冊13枚綴り・2千円：普通車500円券1冊5枚綴り）に今回、新たなサービスとして、1万円：普通車500円券1冊30枚綴りを販売し、駐車料金の割安感をアピールすることで利用者サービス・利用拡大に向けた取り組みを行う。
- (ウ) 現在開催しています「新緑祭」「ふれあい祭」等の大規模事業に加え、新たに秋の行楽シーズンに「秋まつり」を開催し、様々な体験コーナーを通して家族の絆や仲間との交流を深める場を提供する。
- (エ) マイクロバスによる送迎サービスの拡充のため、現在のマイクロバス1台をさらにもう1台追加し、2台体制で園内3ゾーンの併用利用に対応した送迎サービスの充実を図り、来園者増を図る。
- (オ) 広報・営業活動の強化として、県内外の学校団体、子ども会、スポーツ少年団、旅行会社等の企業への直接訪問による広報活動の拡大や、当財団ホームページの内容の充実、イベントガイドやパンフレットの新たな配布先の開拓など、営業活動の強化策を講じる。

ウ 施設の利用者数の目標

施設利用者数：

平成29年度実績 238,476人 → 平成30年度見込 248,000人 → 平成31年度目標 242,000人

<実現策>

(ア) 10月から2月末までの月曜日を休園日とするが、休園日前日の宿泊を希望される場合には、翌朝の退園まで柔軟な対応を行う。

(イ) 4月から9月末までの期間はスポーツゾーンの営業時間を1時間延長し、午後6時までとする。

スポーツ施設については要望があれば午前7時からの早朝利用、さらに照明設備のある体育室、屋内テニスコートについては、最終午後9時まで夜間利用の延長にも対応する。

(ウ) 青年の城および野外活動施設の受付を一元化し、利用者サービスの向上と情報集約化を図る。また、各種団体の利用目的に合った丁寧な活動プログラムの紹介を行い、園内施設の併用利用など有効活用の幅を拡大する取り組みを行う。

(エ) 新規利用者の開拓やリピーターの確保のため、利用状況や社会情勢の分析を随時行い、効率・効果的な広報を行うとともに顧客満足度の一層の向上に努める。

(オ) 園内通行やキャンプ場への車両の乗り入れ制限の緩和等により利便性の向上を図る。

また、多角的な視点から施設のバリアフリー化を推進し、障害者にも利用しやすい施設運営を行う。

なお、駐車料金は広大な希望が丘の芝生や樹木の保安全管理に役立てられていることを説明し理解を得る。

エ 事業参加者数の目標

事業参加者数：

平成29年度実績 77,848人 → 平成30年度見込 88,000人 → 平成31年度目標 110,000人

<実現策>

(ア) 受益者負担を原則とするが、できるだけ手頃な参加料金で県民ニーズの高い事業を企画するとともに、安全面や指導体制を万全に確保したうえで、複数開催や定員拡大により需要に応える。

(イ) 家族や仲間と楽しく交流できる場として、多くの県民の皆様に好評を博している「新緑祭」「ふれあい祭」等を開催しているが、新規事業として、秋の行楽シーズンに子どもたちが安心して遊べるコーナーなどを設けた「秋まつり」を開催する。

(ウ) スポーツ施設と自然豊かなフィールドを活かした大規模な大会型事業を開催し、公園を全国発信し集客に努める。

(エ) 公園のホームページやブログ等のIT情報、公共団体や民間等のメディアを活用して情報を迅速かつ広範囲に発信する。

(オ) 地元2市1町で開催されるイベントや近隣の商業施設に出向き、体験コーナーを出展し、公園や公園事業のPRに努め、事業参加者の拡大を図る。

オ 施設利用者および事業参加者の満足度の目標

満足度：

平成29年度実績 90.9% → 平成30年度見込 90.0% → 平成31年度目標 90.0%以上

<実現策>

(ア) 施設利用者の意見、要望を把握するため、「ご利用者の声」箱を設置する。また、来園者および事業参加者ならびに施設利用者へのアンケート実施のほか、対話による意見収集や顧客満足度調査などを集計・分析して、公園の管理運営に活用する。

(イ) 利用者ニーズの把握や施設運営への反映の取り組みについては、公園運営推進協議会や公園利用者懇話会のメンバーに内容を公開し、意見を伺う。

(ウ) 来園者からいただいたすべての意見・要望や対応については、公園内運営会議で課題を共有し、対応方法および業務改善策を協議・決定する。

(エ) 利用者トラブルの未然防止のため、日頃から目配り、気配りを心がける。苦情が発生した時は、迅速に誠意を持って、真意を理解し、納得いただけるまで丁寧に対応する。また、改善策を検討し、再発防止に努める。

(2) 施設管理運営上の目標（ポイント）

ア 県出資の公益法人として、すべての法令を遵守した法人運営と施設管理を行う。また、県の条例・規則等に準じた内部規程を設け、公正で開かれた業務運営を行う。

イ 県立の総合文化公園として、障害者・高齢者、青少年、妊婦・幼児等を含め、多世代での県民の誰もがスポーツ・健康づくりを推進する場として各種取り組みを行う。

ウ 安心してのびのびと過ごせる公園の魅力をもっと高め、県内外の方々の広大なフィールドを活かした交流・憩いの場としての役割に貢献する。

エ 大自然の中で豊かな人間性を育み、自ら考え行動する力、仲間と共同して活動する力などを身に付ける学びの場としての役割を果たす。

オ 利用者ニーズを把握するため、「ご利用者の声」箱の設置、利用者や参加者へのアンケートに加え、対話を通して来園者の生の声を取り入れる。また、意見・要望やアンケート結果は、業務改善や公園管理に速やかに活かしつつ、PDCAサイクルによるサービス水準の確保向上に努める。

カ 「エコアクション21」認証による行動指針に基づき、環境負荷低減やCO₂・ゴミ排出量削減、環境教育等に努め、快適な公園づくりに取り組む。また、廃棄物「ゼロ」を目的とした、ゼロエミッションの考え方を森林整備に導入し、廃材や間伐材の活用に努める。

キ 日常・定期的な安全点検に加え、利用シーズン前、豪雨、台風、降雪後等においては、より一層慎重な点検を実施する。また、利用者の安全確保・事故防止に万全を期すため、事故の未然防止に必要な工事や器具の備えなどを県に報告するとともに、職員の危機管理能力を向上させる。

(3) 事業実施上の目標（ポイント）

ア 子どもから高齢者までの世代をつなぎ、四季折々に公園を訪れるきっかけとなる「祭事業」などの開催により、広く県民に交流・憩いの場を提供する。

イ あらゆる年代の方々がスポーツに気軽に親しみ、楽しみながら健康づくりに役立つ取り組みやスポーツの楽しさを感じながら仲間との交流を深める大会など、スポーツ・健康づくりを推進する。

ウ 次代を担う子どもたちに「きぼっこ体験事業」を通じて、豊かな人間性、創造性を育む取り組みを拡充するほか、一人でも多くの子どもたちに自然体験活動を推進するとともに、楽しみながら自然を学ぶ場を提供する。

エ 青少年宿泊研修所（青年の城）では社会性を養う機会や共同作業や体験学習を通じて、豊かな人間性や感性を育てる事業を展開する。

オ 野外活動センター（キャンプ場）では、野外活動・キャンプ活動で心身を鍛え逞しく生きる力を養う事業や、仲間と自然に触れ合いながら創造性を豊かにする事業を展開する。

カ 公園サポーターやキャンプリーダー等の人材育成と事業参画の機会を拡充する。

3 事業内容

別紙のとおり

■ 令和元年度 事業内容

※ “きぼっこ体験事業”とは、希望が丘文化公園において次代を担う青少年の自然体験活動を推進する取り組みをいう。

番号	区分	事業名	事業内容	開催予定日	入場料金等 ※青少年(25歳以下)
1	交流・憩いの場の提供／祭事業	希望が丘キッズ自然体験フェスティバル	子どもたちに遊びやスポーツ・レクリエーション、自然体験活動のできる場と家族や仲間と楽しく交流できる機会を提供するとともに、文化ゾーンの活性化を図る。	4月 年間1回	参加費 無料
2		希望が丘新緑祭	新緑のときに、希望が丘文化公園を訪れるきっかけとなる各種アトラクションを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。	5月 年間1回	参加費 500円以下
3		希望が丘秋まつり	秋の行楽シーズンに子どもたちが安心して遊べるコーナーや昔ながらの体験コーナーを設け親子の絆や仲間の交流を深める場を提供する。	9月 年間1回	参加費 500円以下
4		希望が丘紅葉祭	紅葉のときに、希望が丘文化公園を訪れるきっかけとなるイベントを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。	11月 1ヶ月間	参加費 500円以下
5		希望が丘ふれあい祭	さわやかな秋の季節に、希望が丘文化公園を訪れるきっかけとなる各種アトラクションを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。	11月 年間1回	参加費 500円以下
6		よさこいソーランの競演 in 希望が丘文化公園(共催事業)	よさこい方式でのお祭りで、各団体はすべて持ち込みにより演奏とし、中央道およびエリア指定での演奏とする。よさこいの醍醐味を演者も来園者も楽しんでいただく。	11月 年間1回	参加無料、入場無料 (駐車料金必要)
7		希望が丘新春まつり	家族や仲間とともに本格的な凧作りを行い、同時に伝承遊びを楽しむ場を提供する。	1月 年間1回	参加費 500円以下
8		希望が丘スプリングフェスティバル	早春のときに、希望が丘文化公園を訪れるきっかけとなるイベントを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。	3月 年間1回	参加費 500円以下
9	交流・憩いの場の提供	希望が丘交流ひろば	希望が丘文化公園の広大な敷地を活用し、家庭の不用品やてづくり品を対象としたフリーマーケットを開催して「エコ」気運と高い開催ニーズに応えるとともに、食事コーナーを開設するなどしてにぎわいと憩いの場を創出する。	5月・9月・10月・11月・3月 年間10回	参加費 7,500円以下
10		希望が丘のびのびペインティング	地面にチョークで大きな絵や文字を描き楽しむ。描いた後は水とデッキブラシで消すところまで行い、子どもたちの創造性と責任感を養う。	4月・5月・9月・10月・11月・3月 年間12回	体験料 100円以下
11		希望が丘まるごとファミリーフェスタ	広大で多彩な機能を持つ希望が丘を家族でまるごと体験できるプログラムにより、より公園を身近に感じるとともに、公園の魅力を楽しみながら満喫する。 ①スポーツゾーンではスポーツ体験 ②野外活動ゾーンでは野外調理体験 ③文化ゾーンでは宿泊体験と自然体験プログラム	10月 年間1回	参加費 4,500円以下
12		希望が丘見どころ探検フォトショットラリー	希望が丘文化公園内各ゾーンにおける見どころを、来園者・利用者に探検してもらい、指定した撮影ポイントでの撮影写真を提出していただき、ホームページ等で紹介する。	通年	無料
13		やまもりハブ▶希望が丘 ～自然の中で体当たり図画工作～	主催者「モファ」が希望が丘文化公園の広大な敷地を活用し、さまざまなプログラムを用意し、来場者を巻き込む形で表現の可能性を探ります。	5月 年間1回	共催団体(モファ)が 参加費徴収
14	連携・協働	公園総合PR事業	公園事業の広報・PR、各メディアによる情報発信とともに、基金・広告料獲得をはじめ、営業活動や地域のイベント・行事に出かけるなど、公園の認知度と親近感を高める。併せて、次代を担う青少年の自然体験活動を推進する “きぼっこ体験事業や自然体験プログラムなど教育関係機関への広報、PRに努める。	通年	参加費 無料
15		希望が丘パークフレンド	広く登録者を募り、公園情報のメール配信や、登録者限定イベントを実施し、希望が丘文化公園のPRと来園者増加を図る。 登録者目標:1,000人	通年 イベント参加者数	参加費 無料
16		公園サポーター事業	ボランティア活動に意欲のある人材を募集し、参画と協働を促進するとともに公園の活性化を図る。 登録者目標:100人	通年 活動随時	参加費 無料

番号	区分	事業名	事業内容	開催予定日	入場料金等 ※青少年(25歳以下)
17	スポーツ健康づくりの推進	希望が丘ハイキング	自然環境に恵まれた希望が丘文化公園とその周辺地域を活用し、自然の中に身を置くことによる心身の健康増進の場を提供する。	4月・6月・12月・3月 年間4回	参加費 500円以下
18		希望が丘スポーツフェスティバル	気軽にいろいろなスポーツを体験できる機会を提供、体を動かす楽しさや普段の体力を考える機会とする。家族で参加できるイベントも同時開催し、スポーツの秋を楽しんでいただく。「体験の風をおこそう推進月間」事業「子ども体験遊びりんピック」同時開催。	10月 年間1回	参加費 500円以下
19		希望が丘家族ふれあいランニングスクール2020	広大かつ安全な園内環境を活かした希望が丘の常設クロスカントリーコースを利用して開催し、ランニングの基本を学ぶとともに、親子でスポーツを楽しむ場を提供する。	1月 年間1回	参加費 1,000円以下
20		希望が丘カップ2019グラウンド・ゴルフ大会 ①月例大会 ②グラウンドチャンピオン大会	各8ホール4コースでスコアを競う。 ①月例大会：各回80名×2部×9ヶ月 ②グラウンドチャンピオン大会：100名×1部	①4月～1月第3水曜を中心(年9回) ②3月	参加費 2,000円以下
21		第32回滋賀県グラウンド・ゴルフ春季大会(共催事業)	予選では広大な芝生ランドを活かし、決勝は常設コースを使用して、滋賀県グラウンド・ゴルフ協会と開催。生涯スポーツの振興、健康づくり、仲間づくりの場を提供する。	5月(予選)・6月(決勝) 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県グラウンド・ゴルフ協会)が徴収
22		第32回滋賀県グラウンド・ゴルフ秋季大会決勝大会(共催事業)	県内各地で予選を開催。決勝を常設コースを活かし、滋賀県グラウンド・ゴルフ協会と開催。生涯スポーツの振興、健康づくり、仲間づくりの場を提供する。	10月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県グラウンド・ゴルフ協会)が徴収
23		希望が丘トレイルランニングレース2019(共催事業)	広大かつ安全な園内環境を最大限活かし、健康の保持増進や自然の大切さを深める場を提供する。希望が丘トレイルランニングレース実行委員会とコース整備、大会運営、後片付け等分担して開催。	4月 年間1回	参加費 共催団体(希望が丘トレイルランニングレース実行委員会)が徴収
24		希望が丘ジュニアサッカーフェスタ U-10 2019	大会への参加機会が少ない小学校4年生以下のチームを対象に、スポーツを楽しみ、仲間との交流を深めることができる場を提供する。	6月 年間1回	参加費 3,000円以下
25		滋賀県高等学校駅伝競走大会(男女)(共催事業)	滋賀県高等学校体育連盟に加盟する学校の生徒が、近畿大会・全国大会の出場を目指して競い合う全国規模の大会。青少年の体力増強と健全育成を目的とする。	11月 年間1回	入場応援無料 共催団体(滋賀県高体連)が参加費を徴収
26		びわ湖男女駅伝フェスティバル2019	広大かつ安全な園内環境を活かし、全国の市民ランナーやジョギング愛好者にも門戸を開いて、駅伝を楽しみ、健康の保持増進や交流を深める場を提供する。	11月 年間1回	入場応援無料 共催団体(滋賀県スポーツ協会)が参加費徴収
27		滋賀県中学生ベースボールフェスティバル2019(共催事業)	今まで希望が丘文化公園で行ってこなかった野球に関するイベントを中学生を対象に実施し、日頃の練習の成果を試合の勝ち負けにだけにとらわれずベースボールの素晴らしさ楽しさを再発見する機会とする。	12月 年間1回	参加費 3,000円以下
28		BIWAKOクロカン2020 ・第31回全日本びわ湖クロスカントリー大会 ・第5回全国中学生クロスカントリー選手権大会	広大かつ安全な園内環境を活かし、全国から集った選手による大会を開催し、中・長距離選手の強化・育成・発掘を行うとともに、相互の交流を深める場を提供する。	2月 年間1回	入場応援無料 共催団体(京都新聞滋賀本社)が参加費徴収
29		全国の仲間と深めよう 競いあおう 第9回びわ湖カップなでしこサッカー大会U-12	広大な芝生ランドを活かし、全国から選りすぐられた少女サッカーチームによる大会を開催し、スポーツを楽しみ、仲間と交流を深める場を提供する。	2月 年間1回	参加費 15,000円以下
30		滋賀県スポーツ少年団ラグビーフットボール大会(共催事業)	滋賀県内のラグビーの普及・競技力向上とラグビーを通じて小学生年代の心身の健全な育成に寄与する。	3月 年間1回	入場応援無料 共催団体(滋賀県ラグビー協会)が参加費徴収
31		第13回ストックウォーキング(共催事業)	野洲市スポーツ推進委員協議会との共催事業。野洲市スポーツ推進委員が中心となり、希望が丘文化公園および近江富士花緑公園内で実施。	11月 年間1回	参加費 共催団体(協議会)が徴収
32		ニュースポーツイベント(共催事業)	滋賀県総合型地域スポーツクラブのNPO法人YASUほほえみクラブとの共催事業。滋賀県スポーツ推進計画において、総合型地域スポーツクラブの育成が示され、専門的な人材との連携を進める必要から、開催。	3月 年間1回	参加費 共催団体(NPO)が徴収
33		ピワイチプラス応援イベント 「秋のサイクリング体験 ～希望が丘へ行こう～」	11月の土曜日曜日に自転車無料貸出を行い、また滋賀県観光交流局とも協力し、来園者にサイクリングの楽しさ、ピワイチの魅力を伝える。自転車で来られた方は指定コースで青年の城を往復された方は、記念品を提供する。ピワイチサイクルツーリズムにも協力し、ピワイチサイクルサポートステーションに登録し、サイクリストに立ち寄りいただく。	11月 年間1回	無料

番号	区分	事業名	事業内容	開催予定日	入場料金等 ※青少年(25歳以下)
34	社会教育・生涯学習の支援	希望が丘アウトドアスクール	①県内中学校・高等学校・大学・専門学校等と連携し、勤労体験やインターンシップを受け入れるとともに、学校や各種団体への体験活動を実施する。 ②青年の城、野外活動センターおよびスポーツ会館において、それぞれの利用者からの自然の中での遊びや自然体験プログラムについての相談などに応じて、公園内外に係わらず、野外活動や自然体験の指導を行う。 ③キャンプリーダーの活躍の場を導入していく。	通年	参加費 10,000円以下
35		クラフト&フィールドゲーム	希望が丘文化公園内各ゾーンにおいて、来園者・利用者のニーズに応じて体験プログラムを提供する。体験機会を広めるため、夏休みや休日に気軽に親子で体験できる機会を設ける。	通年	体験料 700円以下
36	自然を体験し楽しみながら学ぶ場／宿泊体験・自然学習	“きぼっこ体験事業” ちびっこファミリー自然とあそぼう！	家庭や地域において子どもが人や自然と直接ふれあう経験が少なくなっている今日、自然や生きもの等への関心が増える年齢期の子どもとその家族を対象に自然やうつくしいものに感動する心や子ども同士の交流を通して思いやりの心を育む機会を提供する。	5月・6月・9月・ 10月・11月 年間5回	参加費 200円以下
37		“きぼっこ体験事業” 希望が丘里山楽校	新緑の季節に、異年齢の子どもたちが共同生活・体験を通して自主性・協調性を身に付けるとともに、自然とのふれあいや里山体験により、環境や生態系への気づきを得る場を提供する。	5月 年間1回	参加費 6,000円以下
38		“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休み自然塾	小学3年生から小学6年生の児童たちが、専門家の指導のもとで植物や生きもの調査研究を行い、自然や環境への理解を深める場を提供する。	7月 年間1回	参加費 25,000円以下
39		“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休み林間スクール	子どもたちが生活体験や自然体験活動等を通して、自主性・協調性・社会性を身に付けることを目的とする。	8月 年間1回	参加費 6,000円以下
40		“きぼっこ体験事業” 希望が丘冬の里山楽校	冬の希望が丘で、異年齢の子どもたちが共同生活・体験を通して自主性・協調性を身に付けるとともに、自然とのふれあいや里山体験により、環境や生態系への気づきを得る場を提供する。	12月 年間1回	参加費 6,000円以下
41		“きぼっこ体験事業” 希望が丘冬の林間スクール	冬の希望が丘で、子どもたちが生活体験や自然体験活動等を通して、自主性・協調性・社会性を身に付けることを目的とする。	1月 年間1回	参加費 6,000円以下
42	自然学習	希望が丘自然観察会	季節に応じたテーマを設定し、希望が丘文化公園内を散策しながら自然観察を行い、自然や生態系への興味・関心を高める場を提供する。	4月・7月・ 10月・3月 年間4回	参加費 300円以下
43	スポーツ・健康・宿泊体験	希望が丘ディスクゴルフ大会2019	滋賀県フライングディスクゴルフ協会と協働し、広大な敷地と常設コースを活用して、広域から参加者を募る大会を開催する。	9月 年間1回	参加費 2,000円以下
44		平成31年度 第52回滋賀県スポーツ少年大会 (共催事業)	滋賀県スポーツ協会等と連携し、滋賀県下のスポーツ少年団員を対象に、スポーツ・文化学習・交流交歓等の活動や集団生活を通して心と身体を育て、団活動の活性化を図る。	8月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県スポーツ協会)が徴収
45		平成31年度滋賀県スポーツ少年団 ジュニア・リーダースクール (共催事業)	滋賀県スポーツ協会等と連携し、地域のスポーツ少年団活動でリーダー的な役割を担える人材の育成と将来へ向けた指導者育成を図る。	12月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県スポーツ協会)が徴収

番号	区分	事業名	事業内容	開催予定日	入場料金等 ※青少年(25歳以下)
46	自然を体験し楽しみながら学ぶ場／野外活動・キャンプ	“きぼっこ体験事業” 希望が丘アウトドアキッズキャンプ	小学生の学年層に応じたキャンププログラムにより、子どもたちの自然や野外活動への興味・関心を高め、自主性・協調性を身に付けることを目的とする。	6月 年間1回	参加費 8,000円以下
47		“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休みわんぱくキャンプ	異年齢の子どもたちが、6泊7日の長期キャンプを通して自主性・協調性を身に付けるとともに、克服体験や達成感によってたくましく成長することを目的とする。	8月 年間1回	参加費 25,000円以下
48		“きぼっこ体験事業” 希望が丘ちびっこキャンプ	初めてキャンプをする小学校低学年(1年生～3年生)の児童を対象に、野外活動や共同生活を通して、自主性や協調性を身に付ける。	10月 年間1回	参加費 8,000円以下
49		“きぼっこ体験事業” 希望が丘秋のプチキャンプ	家族を対象に秋を感じる日帰りのプログラムを提供し、自然探究や野外活動への興味・関心を高め、デイキャンプの魅力を提供する。	11月 年間1回	参加費 1,200円以下
50		“きぼっこ体験事業” 希望が丘わいわいクリスマスクッキング	自然の中でのクリスマスプログラムを提供し、子どもの体験活動を指導するとともに、自然や野外活動への興味・関心を高め、家族の絆を深める場を提供する。	12月 年間1回	参加費 1,500円以下
51		“きぼっこ体験事業” 希望が丘冬のプチキャンプ	家族を対象に冬を感じる日帰りのプログラムを提供し、自然探究や野外活動への興味・関心を高め、デイキャンプの魅力を提供する。	1月 年間1回	参加費 1,200円以下
52		“きぼっこ体験事業” 希望が丘春のプチキャンプ	親子で体験するデイキャンプを通して自然探究や野外活動への興味・関心を高め、創造力を豊かにする機会を提供する。	3月 年間1回	参加費 1,200円以下
53		希望が丘ふれあいキャンプ ～病気の子どもたち・障がいのある子どもたちとともに～(共催事業)	滋賀病気の子どもたちの支援ネットワーク等と協働し、障がいや病気を持つ子どもたちとその家族が楽しくキャンプを行えるように支援し、自然や野外活動への興味・関心を高め、家族の絆を深めることができる場を提供する。	4月・9月 年間2回	参加費 共催団体(滋賀病気の子どもたち支援ネットワーク)が徴収
54		希望が丘キャンプリーダー養成講習会	新規活動希望者に対して養成講習会を実施し、修了した者は登録して、キャンプリーダーとしての活動に参加することが可能となる。	4月・5月 年間2回	参加費 1,500円以下
55		希望が丘キャンプリーダー一研修会	キャンプリーダーに登録している学生を対象に、自然体験や野外活動に関する知識・技術の研修を行い、スキルアップを図ることにより、公園運営の一翼を担う人材を育成する。	通年	参加費 1,500円以下
56	希望が丘ファミリーキャンプフェスタ	自然の中での野外活動を通して、日常では味わいにくい体験や感動を家族や仲間とわかちあえる場を提供する。	7月 年間1回	参加費 3,500円以下	
57	キャンプ活動の力 (共催事業)	滋賀県キャンプ協会と協働し、キャンプ活動を通してライフスタイルを見つめ直し、コミュニケーションの大切さや生きる力に必要なスキルを学ぶ場を提供する。	10月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県キャンプ協会)が徴収	
58	キャンプインストラクター養成講習会 (共催事業)	滋賀県キャンプ協会と協働し、日本キャンプ協会公認のインストラクター資格取得のための講習会を行い、キャンプ指導者の育成を図る。	11月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県キャンプ協会)が徴収	

59	自主事業	フィールドアスレチック事業	依藤太百足退治をモチーフに設置されたロープと丸太との遊具で遊びながら体力と健康づくりをする。36ポイントの他にお城ジャングル(9ポイント)、幼児コース(11ポイント)を開設。幼児から大人までの幅広い人々に、自然の中での体力の向上や家族サービス、校外学習の場としての役割を担う。	通年	
60	事業	グラウンド・ゴルフ事業	グラウンド・ゴルフ場は3コース24ホールで運営。自然豊かな公園の特性を生かし、子どもから高齢者まで誰でも楽しめる生涯スポーツの活性化の一翼を担うとともに、県民の健康増進を図るため実施する。	通年	

		第27回全国中学校駅伝大会	中学校教育の一環としてわが国特有の駅伝文化を継承する機会を広く与え、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦を図る。	12月 年間1回	参加費 後援団体(日本陸上競技連盟)が徴収
--	--	---------------	--	-------------	--------------------------